

文化経済学会<日本> 2024年度研究大会 分科会プログラム

分科会1 7月14日(日)9:20-11:05 *1-Aのみ9:55開始

1-A 公立文化施設

座長 清水 裕之(名古屋大学)

論題	地方自治体が捉える公立劇場の専門的人材の考察
発表者	柴田 英杞(東京経済大学大学院)
討論者	中川 幾郎(帝塚山大学)

論題	公立劇場における社会包摂に関する意識:舞台技術者を中心としたインタビュー調査から
発表者	長津 結一郎(九州大学)
共同発表者	吉野 さつき(愛知大学)
討論者	川井田 祥子(鳥取大学)

1-B コミュニティ

座長 小林 瑠音(芸術文化観光専門職大学)

論題	クラウドファンディングを契機とした文化遺産保護を支えるファンコミュニティの可能性
発表者	土屋 正臣(城西大学)
討論者	川北 真紀子(南山大学)

論題	住うこととものづくり—小さな単位のコミュニティの創造性
発表者	琴浦 香代子(京都工芸繊維大学大学院)
討論者	荒木 由希(金城大学)

論題	2000年代以降の都心の趣味縁の空間の推移
発表者	加藤 康子(北海道大学大学院)
討論者	小林 瑠音(芸術文化観光専門職大学)

1-C 伝統・地域文化

座長 高島 知佐子(静岡文化芸術大学)

論題	茶道における木地・塗道具の生産と需要
発表者	太田 直希(同志社大学)
討論者	安嶋 是晴(富山大学)

論題	持続可能な地域の発展のために地域固有の無形文化である伝統芸能を地域資源として活用する資源戦略について —上方落語の定席「天満天神繁昌亭」に関する地域と落語家の取り組みを事例に—
発表者	竹内 宏文(北陸先端科学技術大学院大学)
討論者	米屋 尚子(日本芸術文化振興会)

論題	京野菜の栄養成分と市場価値について
発表者	長坂 高男(名古屋大学大学院)
討論者	森崎 美穂子(帝京大学)

2-A 地域とアート

座長 吉田 隆之(大阪公立大学)

論題	アートフェスティバルと地域の変容
発表者	野田 邦弘(横浜市立大学)
討論者	吉田 隆之(大阪公立大学)

論題	地域住民の声に基づくホスピタリティーアートと伝統工芸品の融合と新しい価値基準の創設
発表者	荒木 由希(金沢大学大学院)
討論者	長津 結一郎(九州大学)

2-B 文化統計・計量分析

座長 勝浦 正樹(名城大学)

論題	「演芸・演劇・舞踊鑑賞」の行動者についての詳細分析 —社会生活基本調査の匿名データを用いて
発表者	坂部 裕美子((公財)統計情報研究開発センター)
討論者	片岡 栄美(駒澤大学)

論題	コロナ禍での舞台鑑賞と危機意識
発表者	飯田 星良(追手門学院大学)
討論者	勝浦 正樹(名城大学)

2-C 会員企画セッション I

テーマ	日本の芸術家のためのセーフティネット構築について考える
企画趣旨・内容	<p>講演:コロナ禍で明らかになった芸術家の活動基盤の脆弱性~2回のアンケート調査結果から(15分程度) 登壇者:大和 滋(公益社団法人日本芸能実演家団体協議会参与)</p> <p>講演:芸術家の働き方の特性に配慮した諸外国制度と日本の制度の弱点 日本における芸術家社会保障設計に向けての論点(15分程度) 登壇者:秋野有紀(早稲田大学教授)</p> <p>講演:日本における芸術家のための互助の仕組みづくりの提案(10分程度)~アンケート結果と日本の制度から考えられる提案 登壇者:榎野睦子(公益社団法人日本芸能実演家団体協議会法制広報部課長)</p> <p>ラウンドテーブル(60分程度) 日本の課題と仏・独・韓及び英米などの制度を比較考量し、日本における芸術家の社会保障の在り方を議論する 登壇者:河島伸子(同志社大学教授、司会進行)、秋野有紀、小林瑠音(芸術文化観光専門職大学講師)、大和滋、榎野睦子</p>
登壇者	<p>大和 滋(公益社団法人日本芸能実演家団体協議会)</p> <p>秋野 有紀(早稲田大学)</p> <p>榎野 睦子(公益社団法人日本芸能実演家団体協議会)</p> <p>河島 伸子(同志社大学)</p> <p>小林 瑠音(芸術文化観光専門職大学)</p>

3-A 文化政策・文化支援

座長 綿江 彰禪(一般社団法人 芸術と創造)

論題	コロナ後の日本の文化政策再構築に向けた中間支援機能の役割: 日英共同研究成果報告を中心に(仮)
発表者	佐野 直哉(東京藝術大学)
共同発表者	小林 瑠音(芸術文化観光専門職大学)
討論者	朝倉 由希(公立小松大学)

論題	市民の音楽活動参加支援システムの意義と展望 —大阪における事例から
発表者	本田 洋一(大阪公立大学)
討論者	壬生 千恵子(エリザベト音楽大学)

論題	武士のパトロネージュー金森宗和と松平不昧
発表者	中原 逸郎(楓錦会)
討論者	小島 寛大(芸術文化観光専門職大学)

3-B 都市と文化

座長 佐々木 雅幸(大阪公立大学)

論題	「文化都市」から「創造都市」への転換に見られる「文化」の摩擦: ポスト産業都市・リンツ市を事例に
発表者	蒔野 真彩(東京大学)
討論者	佐々木 雅幸(大阪公立大学)

論題	ユネスコ世界遺産の真正性と持続可能な観光: フランスのセヴェンヌとオーブラックを事例に
発表者	森崎 美穂子(帝京大学)
討論者	敷田 麻実(北陸先端科学技術大学院大学)

論題	オーバーツーリズムの地域への影響に関する考察
発表者	但馬 智子(大阪公立大学大学院)
討論者	敷田 麻実(北陸先端科学技術大学院大学)

3-C 会員企画セッションII

テーマ	産業としての伝統工芸の海外展開
企画趣旨・内容	<p>2023年9月に部会「産業としての伝統工芸研究会」を設立し、これまで3回の研究会を開催してきた。本研究会の関心は、原材料の調達から製品の流通までの全てのプロセスが不可分に結びついている産業として、伝統工芸を維持していく必要があるという点にある。</p> <p>1980年代から生産額、従業員数ともに伝統工芸は衰退傾向にあると言われるが、一部の分野・品目、産地では、従来の問屋、職人の活動範囲や関係を超えて、活発な活動が行われている。今回の企画セッションでは、中でも海外展開の取り組みに着目し、伝統工芸の中でも地域経済に大きな影響力を持つ陶磁器や刃物を中心に議論を進める。</p> <p>1990年代以降、特に2000年代から積極的に海外展開を行う伝統工芸産地・事業者には、海外展開をきっかけに成長するところもあれば、そうでないところもある。現代における伝統工芸の海外展開は、産地や事業者にとってどのような意味を持ち、いかにして発展に繋げることができるのかを検討したい。</p>

登壇者	(1)趣旨説明(5分)
	(2)「伝統工芸の海外展開の歴史と現在の動向」(15分) 高島知佐子(静岡文化芸術大学)
	(3)「海外展開における知的財産権、デザイナー、地域商社の役割」(15分) 後藤和子(摂南大学)
	(4)「陶磁器生産集落の構造と展望～名古屋圏の産地を事例として～」(15分) 古池嘉和(名古屋学院大学)
	(5)ディスカッション(40分程度) コメント:奥山雅之(明治大学)、馬場武(鹿児島大学)(10分) フロアからの質疑等(30分)

分科会4 7月14日(日)16:20-18:05

4-A コンテンツと文化産業

座長 牧 和生(京都橘大学)

論題	ミュージアムにおけるコレクション形成の歴史的変容
発表者	谷口 彩(SAI Co-Cre Labo)
討論者	鳥羽 都子(岐阜県立美術館)

論題	コンテンツ文化産業のグローバルな伝播における意図せざる結果についての考察
発表者	河 承希(法政大学大学院)
討論者	牧 和生(京都橘大学)

論題	現代美術ギャラリーにおける所属作家の選考とジェンダー: プライマリー・ギャラリーを対象とした聴き取り調査から
発表者	井上 智晶(東京大学大学院)
討論者	加須屋 明子(京都市立芸術大学)

4-B 教育

座長 阪本 崇(京都橘大学)

論題	学校の芸術文化教育への人々の評価と芸術文化テイスト形成に関する社会学的研究 —学校教育効果と家庭の文化資本効果の比較を中心に—
発表者	片岡 栄美(駒澤大学)
討論者	小泉 元宏(立教大学)

論題	心情と行動に着目した海外5大学のCOVID-19対応:台湾の都市計画教育
発表者	助川 たかね(関西国際大学)
討論者	阪本 崇(京都橘大学)

4-C 会員企画セッションⅢ

テーマ	わが国における文化統計の体系化に関する調査・研究 —文化統計及び統計分析の充実に向けて—
------------	---

<p>企画趣旨・ 内容</p>	<p>本セッションの目的は、「令和5年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業『文化統計の体系化に関する調査・研究』」の成果、ならびにJSPS科研費「わが国における文化芸術統計の体系化－理論的枠組みの構築と体系的統計データ集の作成－」（基盤研究(C), 課題番号23K01339)の進捗状況を報告し、文化統計の収集と統計分析を充実させるための議論の場を提供することにある。文化庁「文化に関する世論調査」や総務省「就業構造基本調査」などを用いた実証分析や文化を数量的に把握するための統計分類に関する以下の5報告を行った後に、2名の討論者から研究内容に関してコメントを頂き、フロアも交えてわが国の文化統計やその統計分析の現状と今後について議論する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 勝浦正樹(名城大学)・橋本紀子(関西大学)「新型コロナウイルス感染症拡大の文化的活動への参加に対する影響」 2. 有馬昌宏(兵庫県立大学)・荒木孝治(関西大学)「文化に関する世論調査のマイクロデータ分析－参加の有無, 参加形態間の関係分析などー」 3. 高良佑樹(文教大学)「文化に関する世論調査のマイクロデータ分析－参加頻度の分析ー」 4. 橋本紀子(関西大学)・勝浦正樹(名城大学)「就業構造基本調査による芸術家の所得・就業状況の分析」 5. 西郷浩(早稲田大学)「文化的財及びサービスに関する統計分類の検討」
<p>登壇者</p>	<p>登壇者: 勝浦正樹(名城大学)／有馬昌宏(兵庫県立大学)／高良佑樹(文教大学)／橋本紀子(関西大学)／西郷浩(早稲田大学)</p> <p>討論者: 河島伸子(同志社大学)／米屋尚子((独)日本芸術文化振興会)</p>